

量子力学・ホリスティックな視点

量子力学の分野って、一見心理学と全く関係なさそうですが、実は、めちゃくちゃ関係があります。

直接お客様にうんちくを垂れるわけではありませんが、カウンセラーがこういう視点の理解も持っておくと、より俯瞰的・多角的ににんげんという生き物について理解することができるでしょう。

まず基本的なところから

量子力学とは・・・

「一般相対性理論と共に現代物理学の根幹を成す理論として知られ、主として分子や原子、あるいはそれを構成する電子など、微視的な物理現象を記述する力学である」

※ウィキペディアより引用

…っていう説明じゃ難しいので
かみ砕きます(笑)

量子力学とは…

「原子や電子などのめちゃくちゃ小さい粒子が
どういう影響を周りに与えるか?というもの」

原子や電子、はたまたそれらを構成している物質は
ひろい意味でとらえると「粒子」です。

また、粒子は、波の性質も併せ持っています。(粒子と波動
の二重性)→世の中のすべてのものは「粒子」の性質と「波」
の性質の両方を併せ持っています。

そして、わたしたち人間のからだは「物質(=原子や分子)」
でできていますし、心臓や筋肉などは、微弱な電気で動い
ています。脳内伝達物質も「分子」です。

つまり、こういうことがいえます。

にんげんも、物質(=粒子)でできていて、電気信号(=波)などを使ってからだや気持ちをコントロールしているので、

量子力学の法則に従っている。

粒子の性質、波の性質について
もうすこしお伝えします。

※詳しく、しっかりと理解したい方はご自身で検索などし
てみてくださいね。

<ポイント>

ここで言う波……物理学的にいう「波」のことです

(例)

・音

波形で音色が、波長(周波数)で音の高さが、波の上下の高さで音量が決まります。

・音

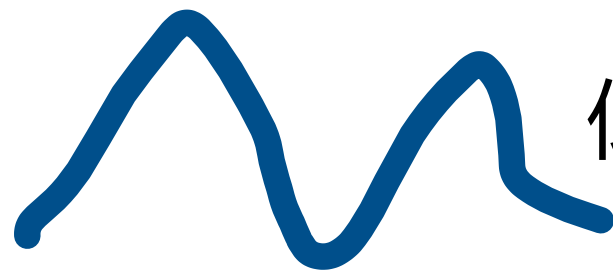
波の波形で音色が、波長(周波数)で音の高さが、波の上下の高さで音量が決まります。



高い音



楽器A
の音色



低い音



楽器B
の音色

(例)

・光

波長で光の種類(赤外線、可視光線、紫外線など)が、
波の上下の高さで光の強さが決まります。

・光

波長で光の種類(赤外線、可視光線、紫外線など)が、
波の上下の高さで光の強さが決まります。



400nm~800nm

※人によって見える範囲が違います

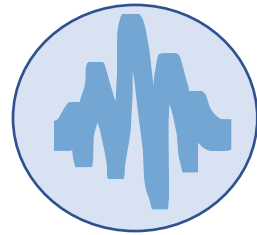
強い ←← エネルギーの強さ →→ 弱い

<「粒子」として見える？「波」として見える？>

※「ここにある！」を厳密に特定することはできない、というのが現代量子力学の見地です

※今、この瞬間、粒子がある場所は水色の丸の範囲のどこかですという理解のしかたでOK。

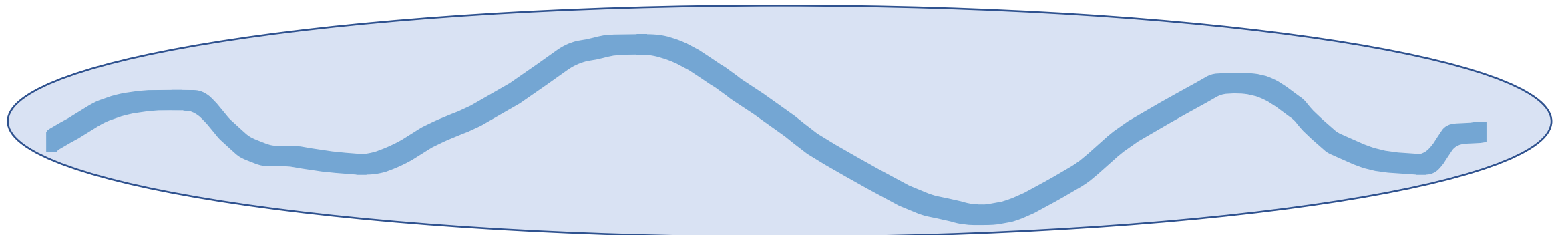
「波」としての波長が短いと・・・「粒子性が強い」



水色の丸の範囲
が小さいので
特定の場所に
「粒子がある！」
・・・ように見える

水色の丸の範囲
が大きいので
波として
「広がっている」
・・・ように見える

「波」としての波長が長いと・・・「波動性が強い」

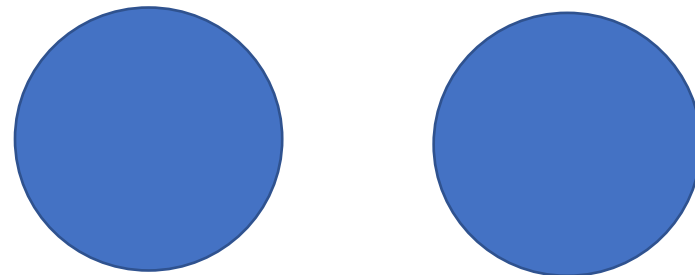


もうすこしだけ前提知識についてお付き合いくださいね。。。

- ・量子もつれ

2つの粒子が強い相互関係にある状態。
粒子のスピン、運動量などの状態を共有している。

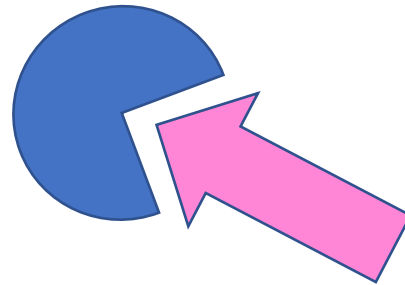
→いわば「ペア」の状態



・量子もつれ

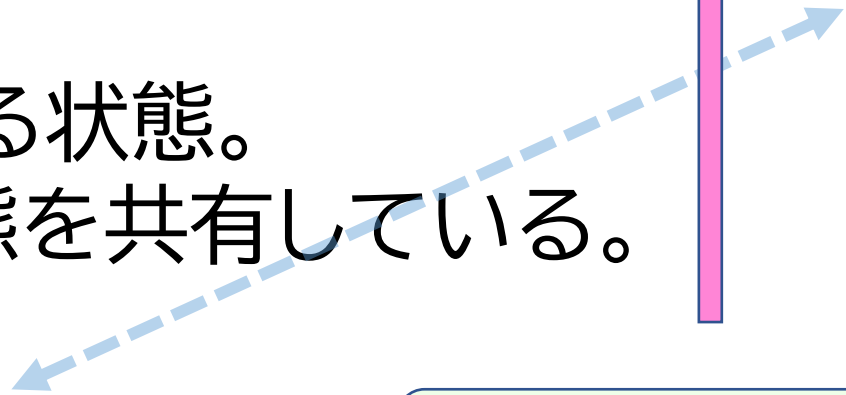
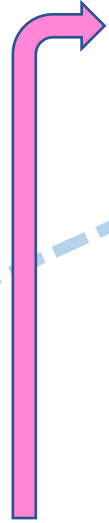
2つの粒子が強い相互関係にある状態。
粒子のスピン、運動量などの状態を共有している。

→いわば「ペア」の状態



どれだけ距離が離れていても
「同時に」変化が生じる

→ペアになっている粒子の片方を「押す」と、
どれだけ離れていても、相方の粒子も同時に「押される」
※地球の反対側だろうが、隣の銀河だろうが、距離は関係ない



つまり、これって…

距離が離れていても

2つの粒子が(対になって)同じ動きをする

→まるで、遠隔操作みたいなことができる

また、さきほどの「波」のところで

波の形や周波数は、それぞれの物質ごとに決まっているという説明をしました。(例では、音とか光を挙げました)

また、さきほどの「波」のところで

波の形や周波数は、それぞれの物質ごとに決まっているという説明をしました。(例では、音とか光を挙げました)

→つまり、人間のからだやところをコントロールしている脳内物質とか、脳波とかにも固有の波が存在する

→それと同じ波を意図的に作り出すことができれば、相手と「共鳴」させることができる、といえるのです。

相手と同じ波を意図的に作り出すことができれば、
相手と「共鳴」させることができる

※感情においても、波の性質があるととらえるならば
カウンセラーがクライアントの感情に共鳴させることが可能
ということができます。

→意図的に相手の波を変える(=ととのえる)ことができれば、
それはいわゆる「遠隔ヒーリング」とか「エネルギーワーク」とか
などの(ちょっとアヤしげな?)類のものになります。

さて、話は変わり・・・

にんげんの

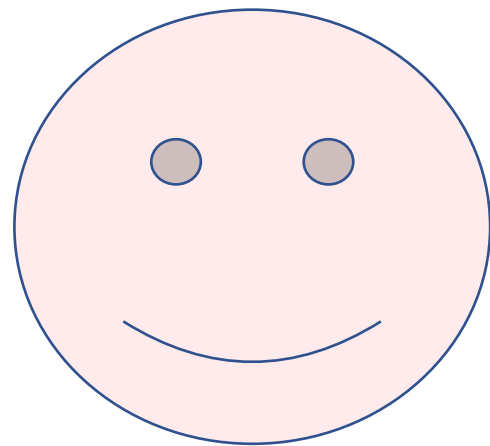
「目(肉眼)で見える範囲のからだ」と「見えない範囲のからだ」
についてです。

にんげんの「からだ」の範囲をどこまでと定義するか？
という視点があります。

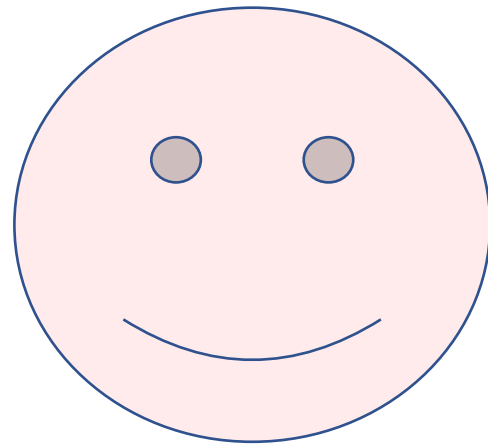
つまり…

物質的な「肉体」と
エネルギー的な「肉体」です。

物質的な「肉体」



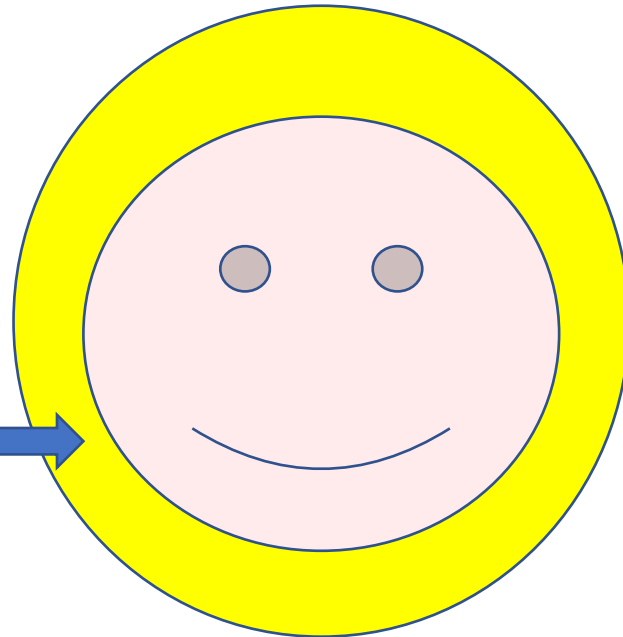
物質的な「肉体」の外側には…
目に見えない「からだ」が存在します。
※外側にいけばいくほど、エネルギーは高いです



物質的な「肉体」の外側には…
目に見えない「からだ」が存在します。
※外側にいけばいくほど、エネルギーは高いです

(まだ外側にもあります)

エーテル体
(いわゆる「オーラ」)



物質的な「肉体」の外側には・・・
目に見えない「からだ」が存在します。
※外側にいけばいくほど、エネルギーは高いです

(まだ外側にもあります)

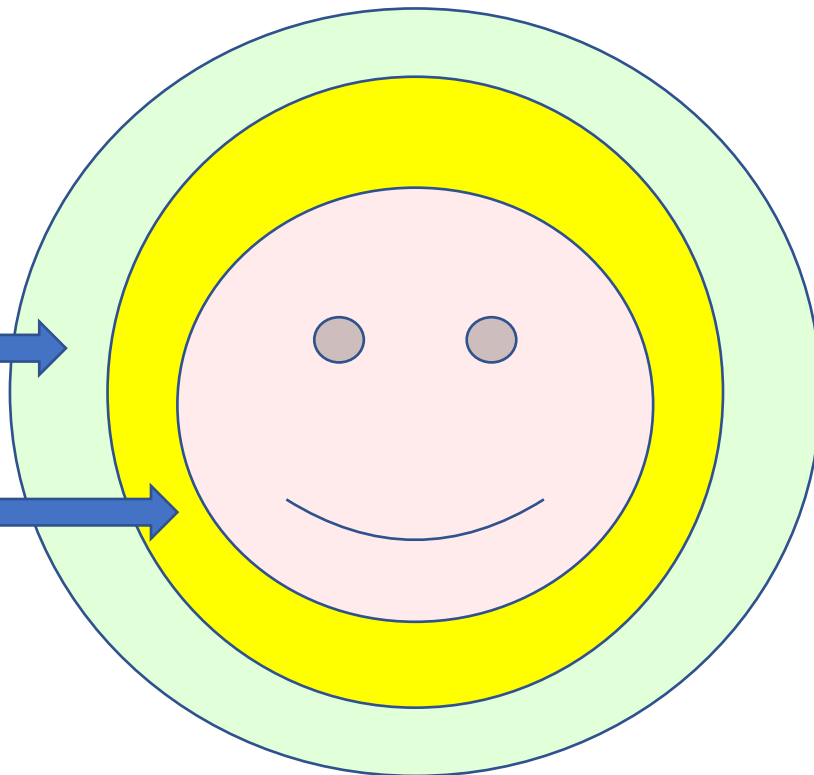
アストラル体



エーテル体



(いわゆる「オーラ」)



物質的な「肉体」の外側には・・・
目に見えない「からだ」が存在します。
※外側にいけばいくほど、エネルギーは高いです

(まだ外側にもありますが割愛します。気になる方はご自身で検索してみましよう！)

メンタル体

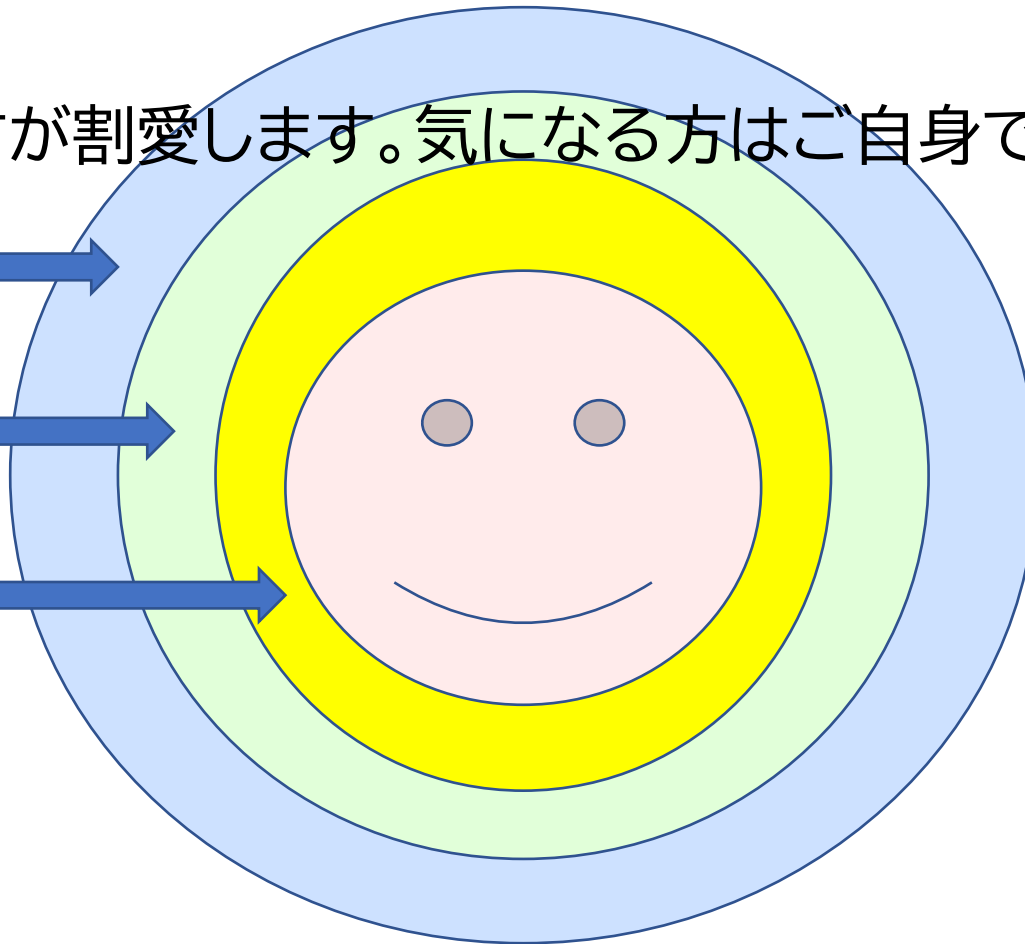


アストラル体



エーテル体

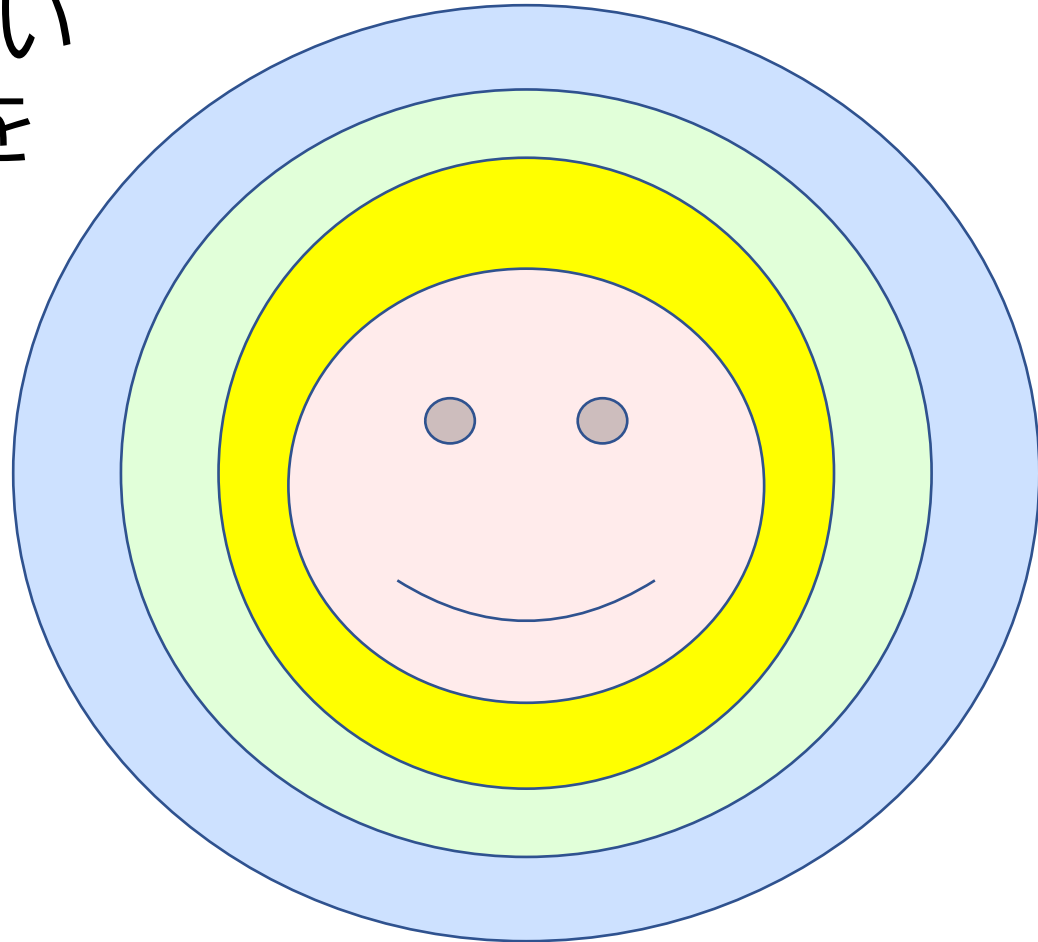
(いわゆる「オーラ」)



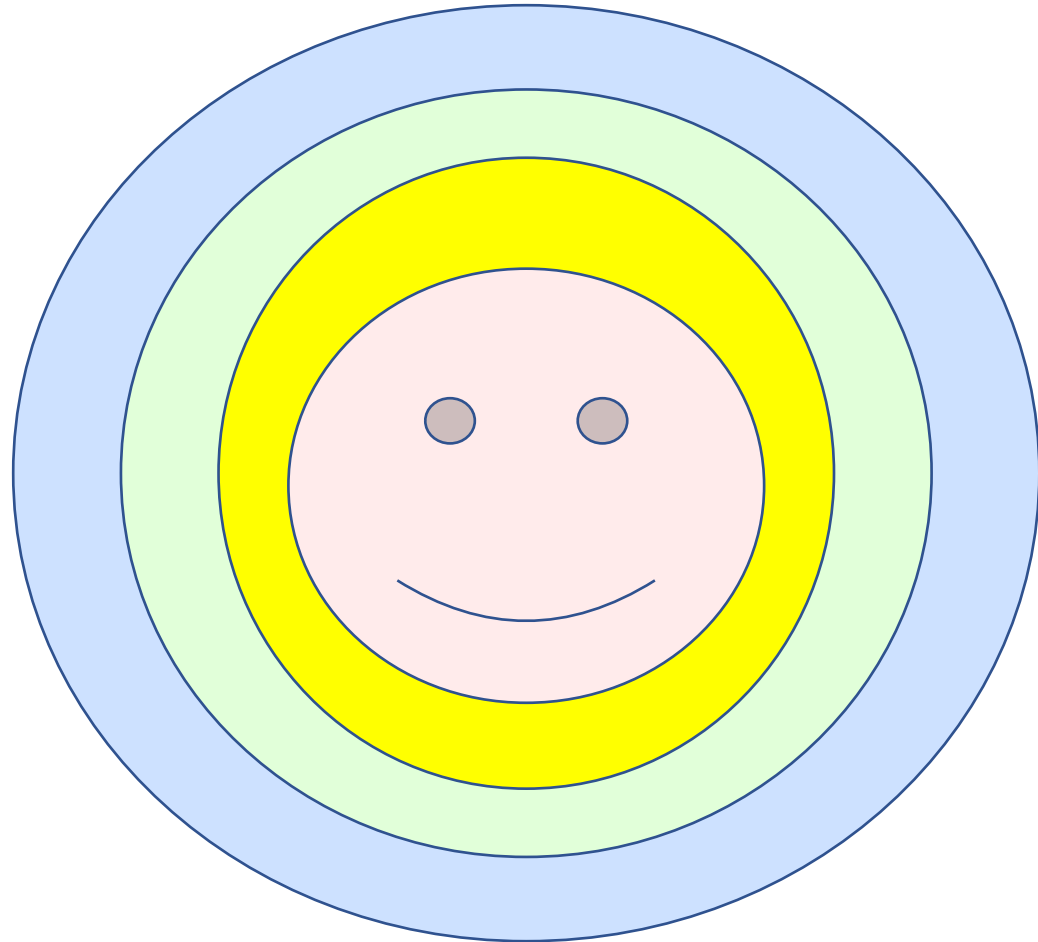
いわゆる「オーラが見える人」
直感的に目に見えない何かを察知する能力が高い人は

この、目に見えない
相手の「からだ」を
感じ取り、

状況を察知
しているものと
思われます。



そして(細胞本来の振動と病気になっている時の振動の違いなど)
を察知する能力が研ぎ澄まされると...

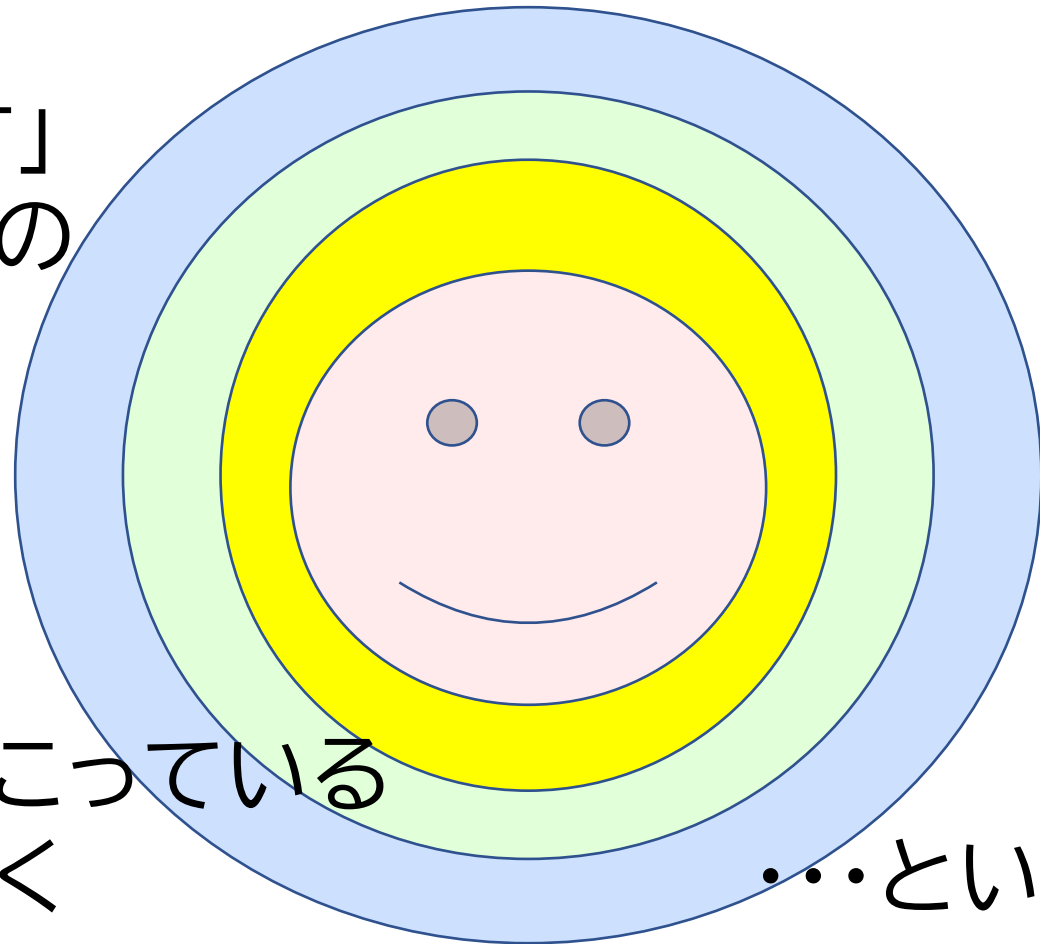


そして(細胞本来の振動と病気になっている時の振動の違いなど)を察知する能力が研ぎ澄まされると

「相手のからだの内部の状態がわかる」 →例:胃癌を見つける

「手をかざして癒す」
→症状がある部位の振動を本来の形にととのえてあげる
※遠隔ヒーリングも同じ原理

「予知能力」
→相手や世界に起こっている振動の変化に気づく



…ということが可能です。

これと同じように…

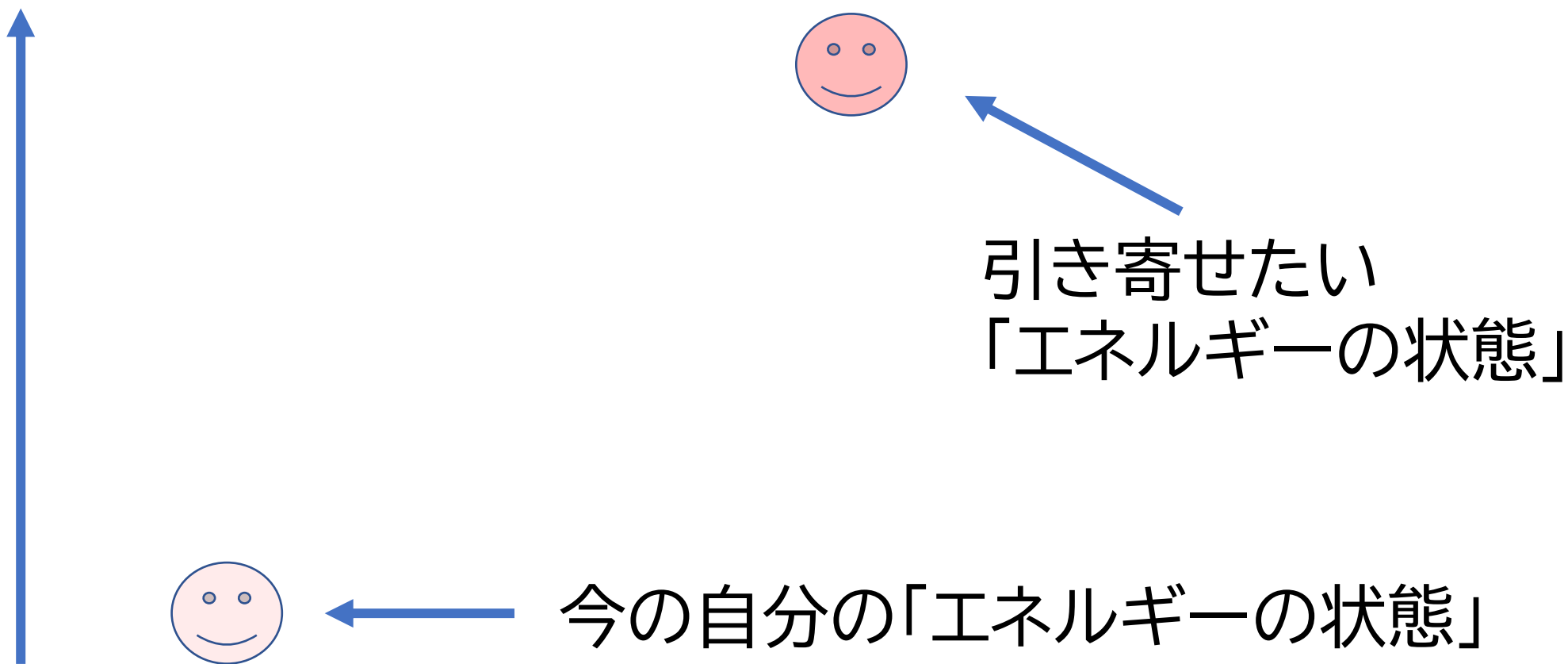
いわゆる「引き寄せ」も同様の原理で説明されます。



今の自分の「エネルギーの状態」

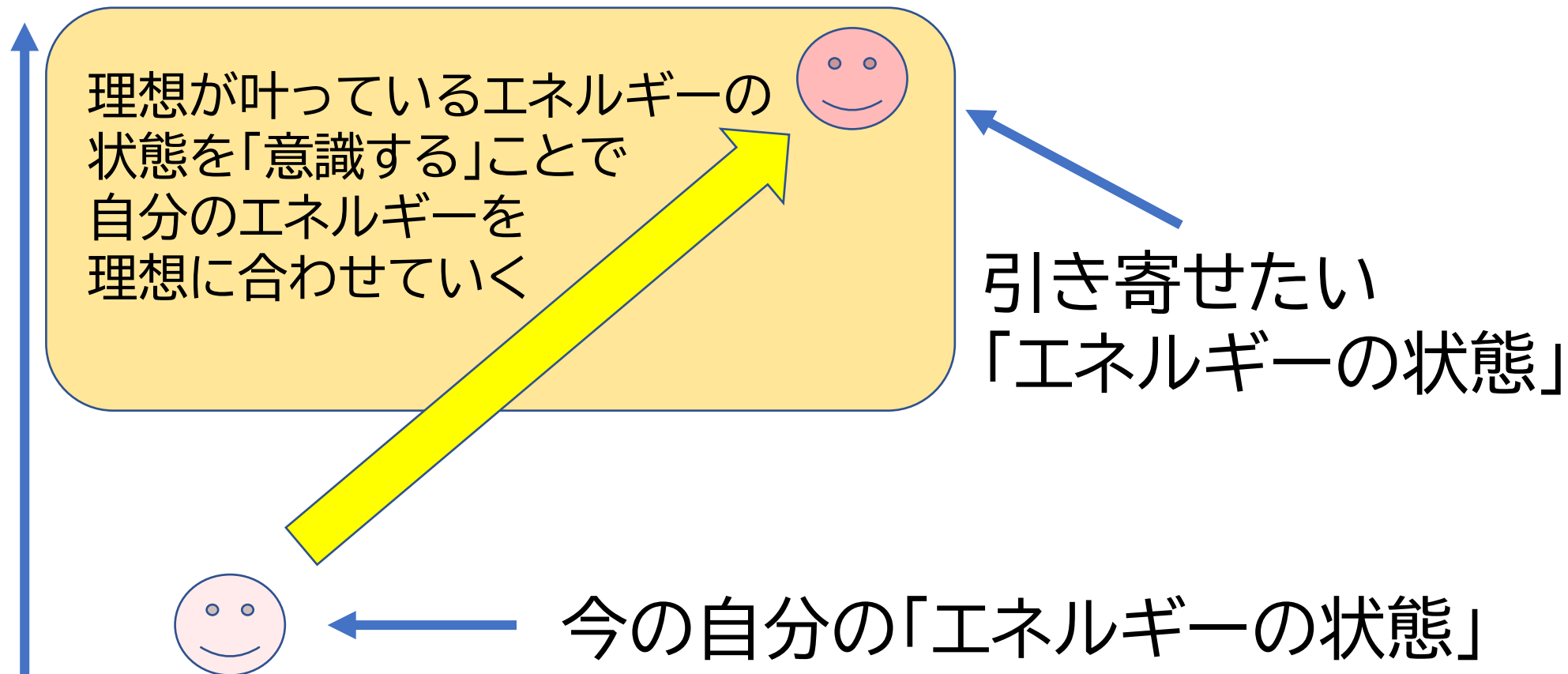
これと同じように…

いわゆる「引き寄せ」も同様の原理で説明されます。



これと同じように・・・

いわゆる「引き寄せ」も同様の原理で説明されます。



これと同じように…

いわゆる「引き寄せ」も同様の原理で説明されます。

自分のエネルギー状態が上がる
ので、自分がそれに見合ったものに
「共鳴」「反応」するようになる



→「引き寄せが起こった！」と知覚する

こういった粒子・原子・波といった
微細なエネルギーを癒しに活用する方法として
つぎのようなものがあります。

- ・レイキ(エネルギーヒーリング)
 - ・レメディ
 - ・クリスタルボウル
 - ・チャネリング
 - ・タロット、リーディング
 - ・心霊手術
- ・・・などなど。

こういった「目に見えないエネルギー」「微細なエネルギー」を察知したり活用したりする能力は人それぞれ違います。

あるからすごい、とか
ないからダメだ、とか

そういうものではありません。

※趣味や特技が人それぞれ違うのと同じです

ただし、そういった感覚・能力をトレーニングする方法はありますので、気になる方は

ネットで検索してみたり、参考になる本を読んだり、そういった能力に秀でている人に師事したりしてみましよう。